

奥能登国際芸術祭2023

企画公募現地見学会資料

～候補地編～

奥能登国際芸術祭実行委員会



奥能登国際芸術祭について

奥能登国際芸術祭は、能登半島の先端、珠洲市で開催される地域芸術祭です。三面を海に囲まれた珠洲は、かつて海の交流により大いに栄えましたが、近代になってから交通体系が水運から陸運中心に変わったことで、「さいはて」の地となりました。

人口減少が続くなか、「さいはてこそが最先端である」という理念のもと、まちの再起をかけた取り組みとして芸術祭が構想されました。過去2回の芸術祭では、アーティストが岬をめぐる道中や鉄道の跡地などの忘れられた場所を発見し、作品を通して土地の潜在力を引き出し、大勢の方に活力をもたらしました。コロナ禍のために会期を1年延期した第2回展では、家仕舞いが始まった珠洲の家々から民具を集め、劇場型博物館「スズ・シアター・ミュージアム」も誕生しました。そして、常設の14作品とあわせて、地域全体が日本文化の源流と最先端の美術に出会える通年型のミュージアムの様相を呈しはじめています。

第3回展では、より深く地域の潜在力を掘り起こし、諸外国にも珠洲の魅力を伝えていきたいと思っています。作品やプログラムの提案をお待ちしています。

北川 フラム 奥能登国際芸術祭総合ディレクター

奥能登国際芸術祭2023開催概要

会 期	2023年9月2日(土) - 10月22日(日) 51日間
会 場	石川県珠洲市全域(247.20k㎡)
主 催	奥能登国際芸術祭実行員会
実行委員長	泉谷 満寿裕(珠洲市長)
総合ディレクター	北川 フラム
公式WEBサイト	https://oku-noto.jp/



地区ごとの特徴

市内10地区にそれぞれ公民館が所在する。地区ごとの活動は主にこの公民館を単位として行われる。



△鯉のぼりフェスティバル (5月)

01 大谷地区
(おおたに)



△禄剛埼灯台

02 日置地区
(ひき)



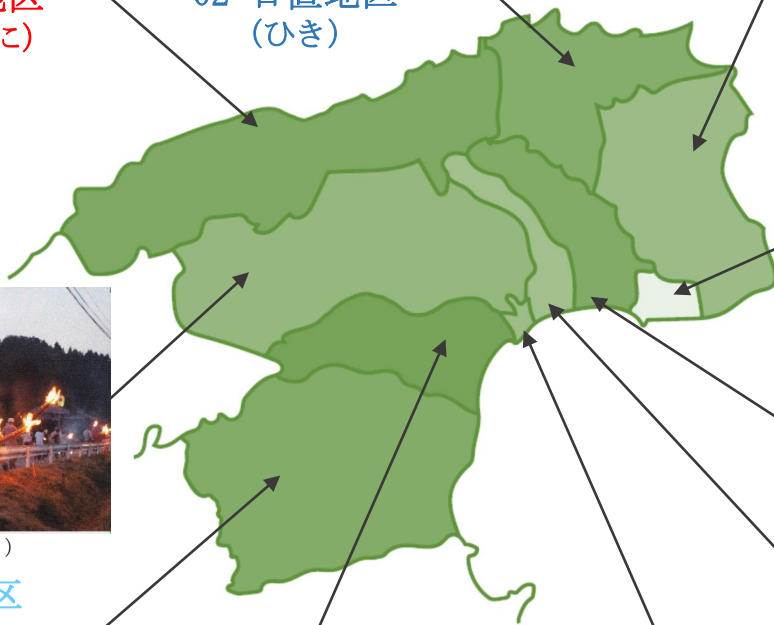
△寺家のキリコ祭り (9月)

03 三崎地区
(みさき)

04 蛸島地区
(たこじま)



△港町の家並み (いしかわ景観大賞)



△コハクチョウの飛来地

05 正院地区
(しょういん)



△虫送りの行事 (6月)

10 若山地区
(わかやま)



△能登のシンボル見附島

09 宝立地区
(ほうりゅう)



△上戸キャーラゲ (9月)

08 上戸地区
(うえど)



△飯田灯籠山祭り (7月)

07 飯田地区
(いいだ)



△文教地区としての街づくり

06 直地区
(ただ)

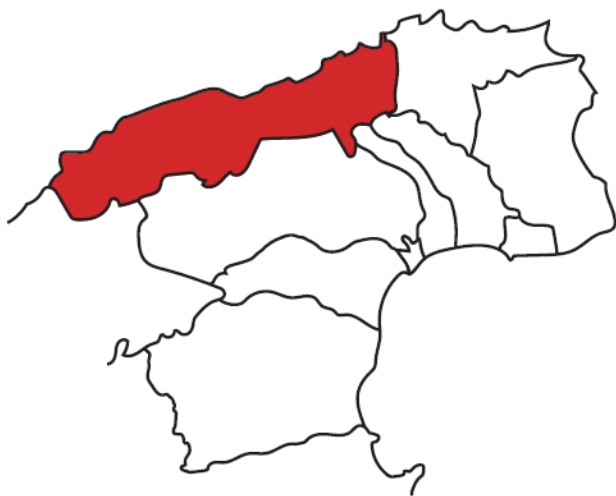
珠洲市全体

総面積：247.20km² 総世帯数：5,958世帯

人口：総人口 13,086人 (男性：6,057人 女性：7,029人) ※日本人+外国人

年齢別人口：0～14歳 879人(6.7%) / 15～64歳 5,498人(42.0%) / 65歳～ 6,709人(51.3%)

人口：令和4年 8月31日 住民基本台帳
面積：平成30年10月1日 珠洲市総務課



01 大谷地区（おおたに）

世帯数：469世帯

人口：935人

面積：50.50km²

主な河川・山岳：

珠洲大谷川（2.3km）

猫ヶ岳（413m）、水山（405m）

鞍坪岳（366m）

学校：大谷小中学校（小学校児童数14名、
中学校生徒数10名）

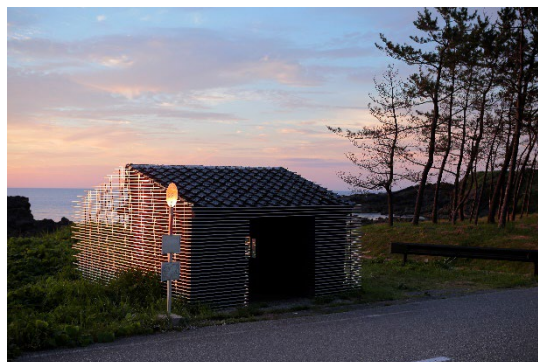
01 大谷地区

～岩礁に打ち寄せる荒波 塩田がつづく海岸線～

地区全体が外浦地区に位置しているため、海からの風を強くうけ急峻な地形となっている。また、波も荒いため、海岸線には岩場が多い。こうした自然条件は、家屋敷の形状にも影響し、間垣などが見られる。日本で唯一継承されるといわれる「揚げ浜式製塩法」が今も受け継がれている。平時忠一族の墓群とされる史跡があり、平家に由来する地名も多い。笹波集落は、かつての「能登名跡志」に絶景也と記され、仁江・真浦の海岸から海に沈む夕日を撮った写真ポスターが、世界観光ポスターコンクール展で優秀作品に選ばれたこともある。能登半島有数の釣り場で多くの釣り人が訪れる。



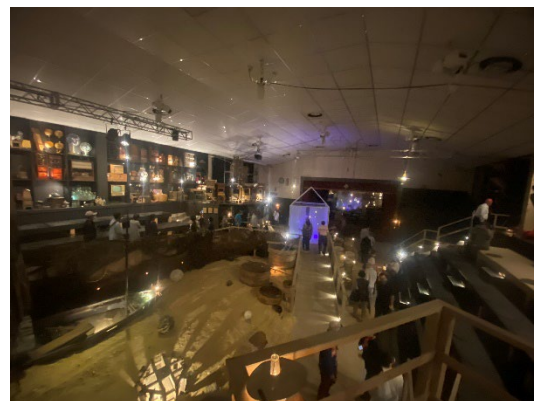
△塩田千春「時を運ぶ船」（旧清水保育所）



△アレクサンドル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次
（笹波口バス停）



△冬の気象条件で発生する「波の花」



△スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」

01 大谷地区

①スズ・シアター・ミュージアム（グラウンド側）



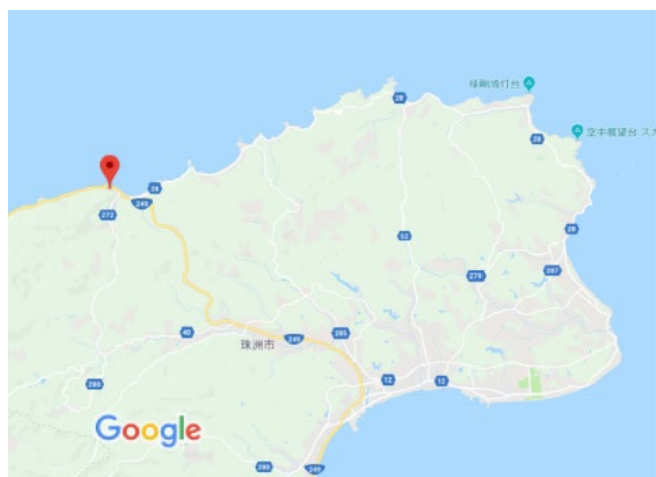
全景



△グラウンド部分(使用可能エリア)

要件	スズ・シアター・ミュージアムと連携したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。グラウンドが利用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市大谷町2-47
施設概要	1971年に建設され、2016年に大谷中学校と統合したため閉校。2021年9月にミュージアムとして開館。現在は、グラウンドのみ使用可能。
付帯設備	駐車場（20台程度）
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	△

01 大谷地区

②外浦海岸（真浦海岸～馬縹海岸）



要件	地形、特色を活かしたインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。能登半島国立公園内に指定されているため一部制限あり
展示期間	会期中（短期）※要相談
住所	大谷、日置地区の海岸線一体
施設概要	海からの風を強くうけ、特に冬場は波も荒い。海岸線には岩場が多い。
管理者	石川県・珠洲市・民間

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	×	×

01 大谷地区

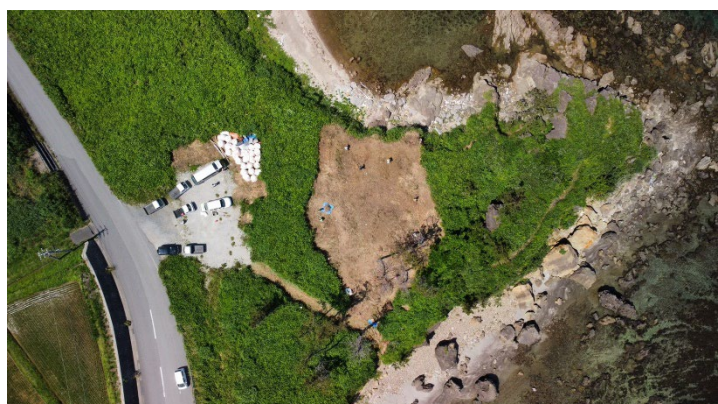
②外浦海岸（真浦海岸～馬縹海岸）



△鰐崎エリア

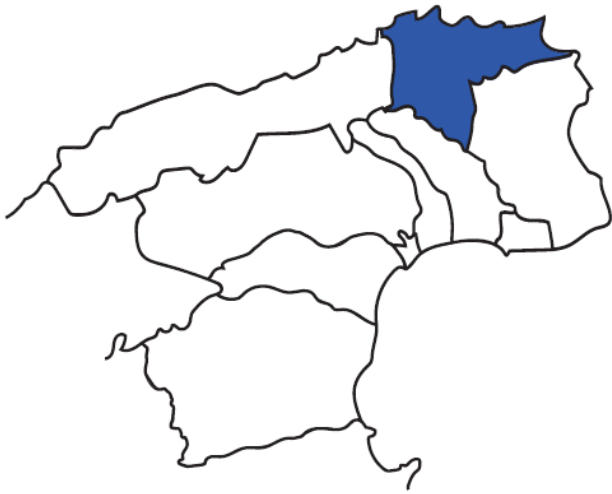


△笹波エリア



△高屋エリア





02 日置地区（ひき）

世帯数：216世帯

人口：422人

面積：20.47km²

主な河川・山岳：

折戸川（1.6km）、山伏山（172m）

学校：—

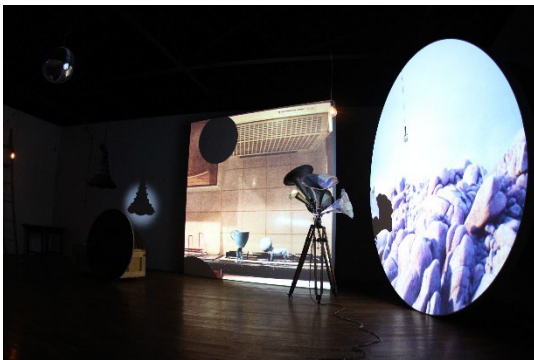
02 日置地区

～能登半島先端に立つ灯台 変化に富んだ岬めぐり～

日置の地名は、源平盛衰記に登場する日置氏に関連があるとも言われるが、製塩や焼物など、火との縁が深かった場所と思われる。古墳後期から奈良平安期にかけての製塩遺跡の分布が顕著であり、「王政の昔、海上警備のために、烽火を設けた」という狼煙の地名の由来にもつながる。狼煙町の背後にそびえる山伏山は、信仰の山として尊ばれ、沖を通る船の目印としても大切な役割を担ってきた。

半島の最北端に位置する禄剛崎は、水平線に日の出・日の入りが見られる景勝地として知られ、同地に、明治初期に建設された禄剛埼灯台は、日本の灯台50選にも選ばれ、歴史的・文化的価値が高い。

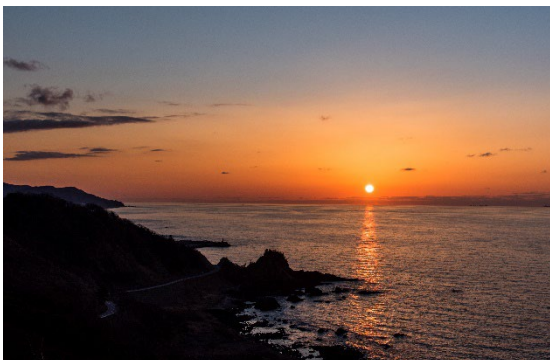
木ノ浦海岸は、透明度が高く、崖や洞穴、岩礁が集まり随所で変化に富んだ眺望が楽しめる。珠洲市内で最も高齢化が進み、世帯数も少ないが市外からの移住者も増えつつある。



△さわひらき「幻想考」（旧日置公民館）



△アレクサンダー・コンスタンチーフ/珠洲海道五十三次
（能登洲崎バス停）



△椿展望台から望む夕陽



△禄剛埼灯台

02 日置地区

③滞在交流施設 日置ハウス



要件	「日置ハウス」は簡易宿所として、サポーター等の宿舎として利用可能であり、滞在制作も可能。 併設する、旧校舎、体育館は使用不可であるが、中庭とグラウンドは、インスタレーションやイベントなど使用可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市折戸町ヌ-8
施設概要	1981年に日置小学校（旧校舎側）として建設。1993年に中学校部分（日置ハウス側）が併設して建設されたが、2005年に閉校となった。 2017年滞在交流施設「日置ハウス」としてリニューアルオープン。
付帯設備	駐車場（15台程度）、中庭、グラウンド
所有者	珠洲市

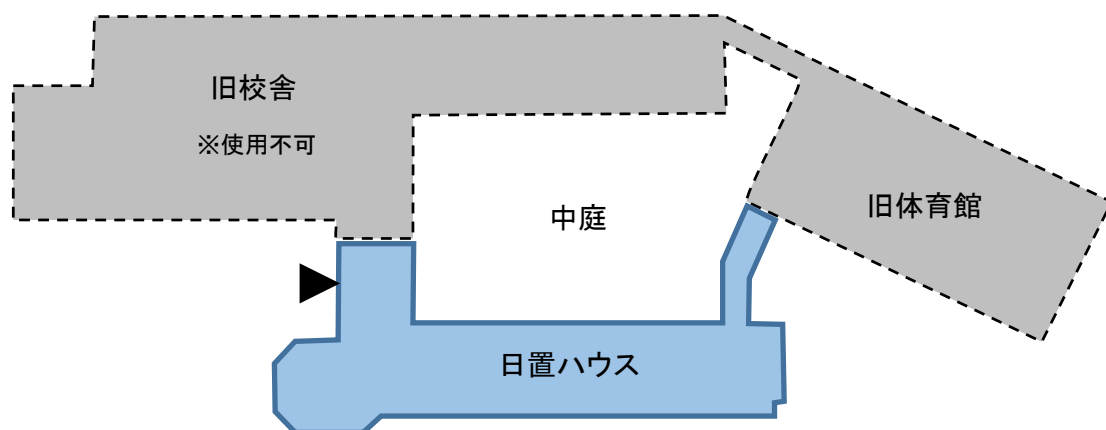
■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真

平面図



中庭



校舎下のグラウンド

日置ハウス 施設の様子



食堂



部屋

02 日置地区

④ 禄剛埼灯台台地（展望台など）

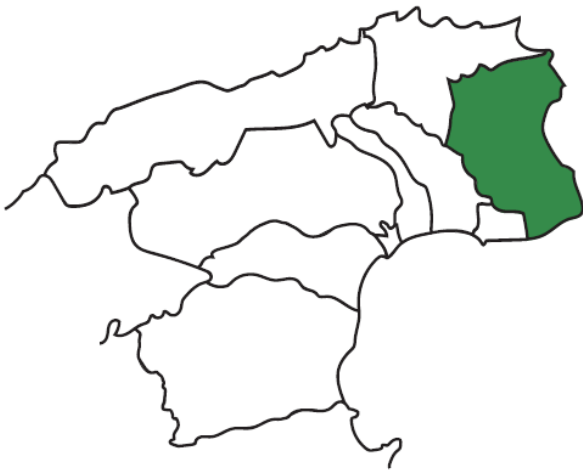


要件	施設や芝生広場も含めたインスタレーションやイベントなど使用可能。 ※国定公園内のため規制あり
展示期間	会期中、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市狼煙町
施設概要	禄剛埼灯台の台地にある六角形の展望台室。展望台からは海が見下ろせる他、かつて山頂に狼煙を立てていた山伏山が見える。
所有者	珠洲市

■ 施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	○	○	×



03 三崎地区（みさき）

世帯数：842世帯

人口：1,942人

面積：31.07km²

主な河川・山岳：

紀の川（6.4km）、粟津川（1.7km）

山伏山（172m）

学校：みさき小学校（児童数58名）

三崎中学校（生徒数28名）

03 三崎地区

～海の守護神・須須神社 里山里海が融合する場所～

地区名は、寺家の金剛崎・遭崎、高波の宿崎を合わせた三崎に由来すると言われる。

地区内に、式内社と伝えられる須須神社があり、鎌倉期の木造男神像5軀（国重文）、源義経が寄進したという「蟬折の笛」を所蔵する。寺家の地名は、同社の僧房群が所在したことにより、神島・姫島などの岩礁も同社にちなむ。奥社のある山伏山は、古代以来海上交通の安全を祈る山であり、社叢は国天然記念物となっている。

大正期、農業の副業として蚕糸、藁製品などが行われる。工業としては瓦、珪藻土などがつくられていた。

ため池でのジュンサイ栽培や松林を使ったシイタケ栽培、沿岸漁業など、市内で最も里山里海に触れられる地区であり、金沢大学の能登学舎が設置されている。



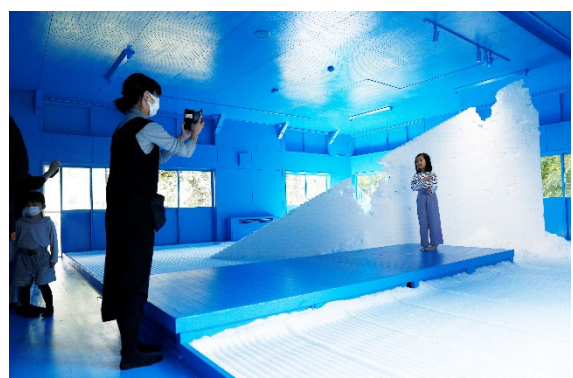
△海に向かって立つ須須神社の鳥居



△長手崎灯台



△カールステン・ニコライ/Autonomo（旧粟津保育所）



△山本基/記憶への回廊（旧小泊保育所）

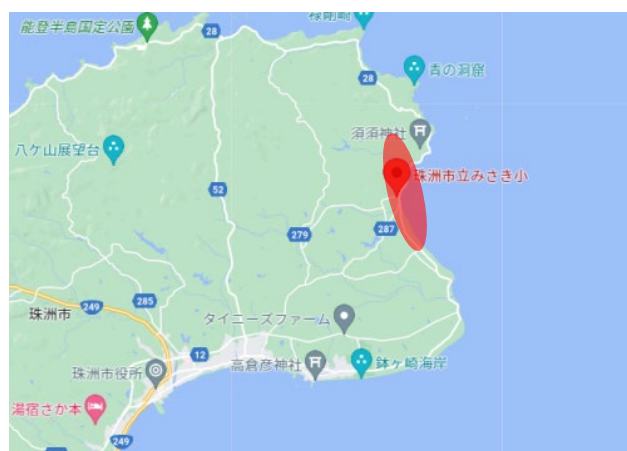
03 三崎地区

⑤寺家～森腰海岸線

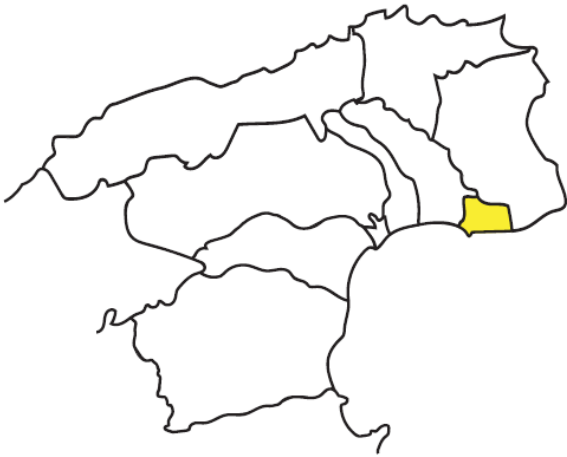


要件	海岸線の地形を活用したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（短、中期）
住所	珠洲市三崎町寺家～森腰地内
施設概要	砂浜も広く波も穏やかな内海に面した海岸線。冬場はサーフィンの大会も開かれるなど愛好家も多い。
所有者	民間

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	×	×



04 蛸島地区（たこじま）

世帯数：542世帯

人口：1,195人

面積：3.10km²

主な河川・山岳：
—

学 校：蛸島小学校（児童数34名）

04 蛸島地区

～活気あふれる蛸島港 漁師町の風情ある街並み～

蛸島の海岸には、船舶の目標となる高さ20mの山王の森（高倉彦神社の社叢）と呼ばれる小高い丘がある。また、沖合い400mに周囲200m余の弁天島があり風波を防ぐ。蛸島の地名の由来は、山王の森の沖に大蛸がいて、船中や近郷の人々を食していたが、土地の山神に退治され、島に化したためとも、島に蛸が多くいたことによるともいわれる。

砂浜の割に海が深いこともあって古くから漁港として栄えるとともに（イワシ、タイ、ブリが漁獲高の7割を占めていた）、江戸時代は海上交通の要港でもあり、珪藻土製品および珠洲瓦の移出港でもあった。漁師町の風情を残す白壁と下見板の街並みは、1996年にいしかわ景観大賞を受賞している。

鉢ヶ崎エリアは、「日本の渚百選」にも選ばれた鉢ヶ崎海岸をはじめ、健康増進をテーマにスポーツ・リゾートエリアとして整備を進めている。またボーイスカウトの全国大会のメイン会場や、国内有数規模のトライアスロン大会も当地区を中心に開催している。



△トビ・アス・レベ・ルター「Something Else is Possible/なにか他にできる」



△リュウ・ジャンファ「漂移する風景」（珠洲焼資料館）



△蛸島港（県内に2つしかない「第三種漁港（全国規模の港）」のひとつ）



△豪華絢爛なキリコが町内を練り歩く様子は圧巻



△蛸島町の祭礼で演じられる「早舟狂言」

04 蛸島地区

⑥鉢ヶ崎エリア（わくわく夢らんど）



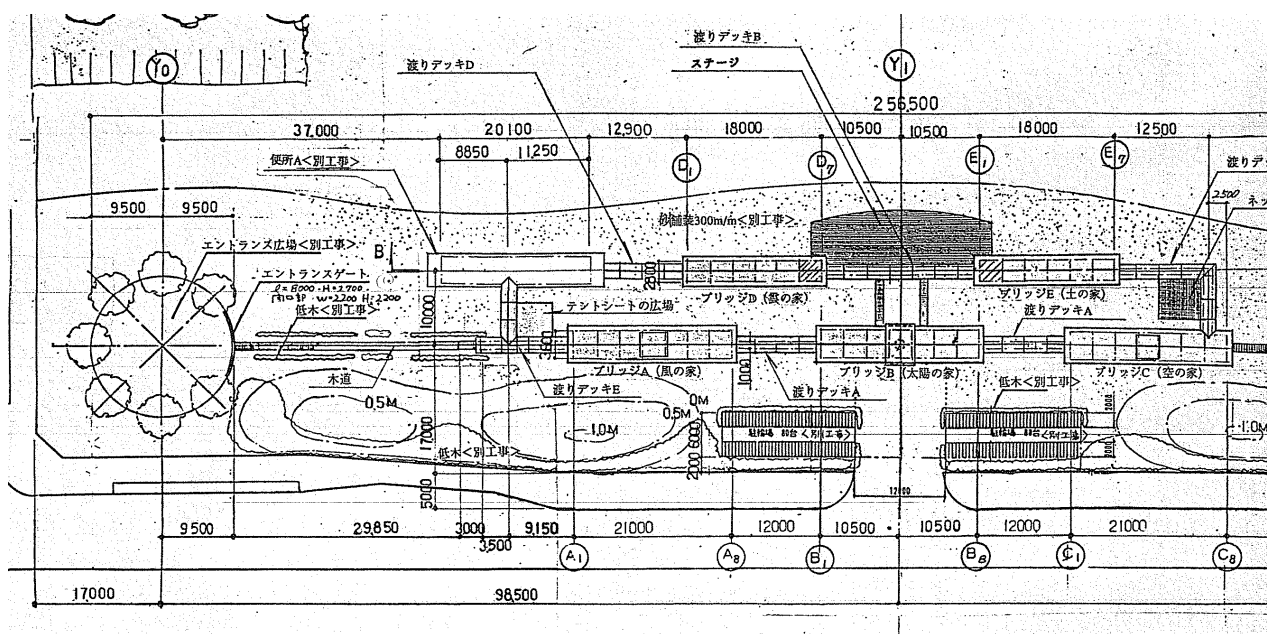
要件	設計者の意図を汲んだイベントや新しい遊具・機能の追加。
展示期間	会期中 ※遊具や設備などの追加の場合は会期外も応相談。
住所	珠洲市蛸島町鉢ヶ崎メ部28番地
施設概要	環境デザイン研究所が設計。1995年建設。 鉢ヶ崎リゾートエリアの一角
付帯設備	ステージ、駐車場
所有者	珠洲市（指定管理者：（一財）鉢ヶ崎リゾート振興協会）

■施設所在地



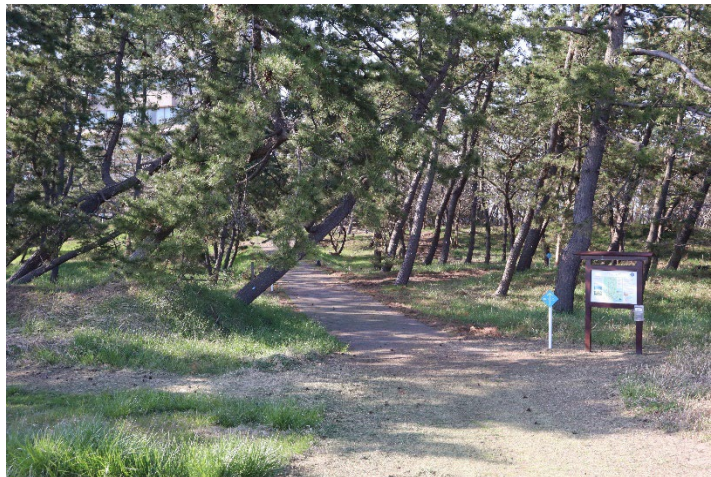
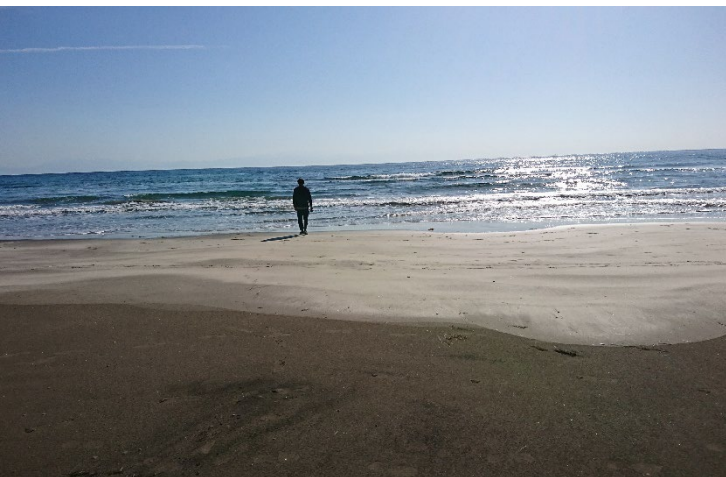
電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真



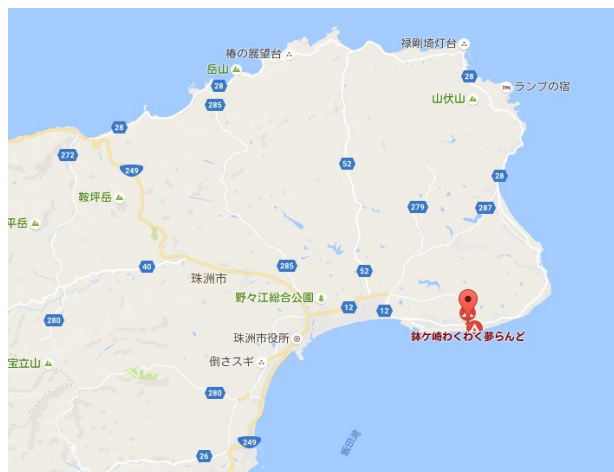
04 蛸島地区

⑦鉢ヶ崎エリア（海水浴場）

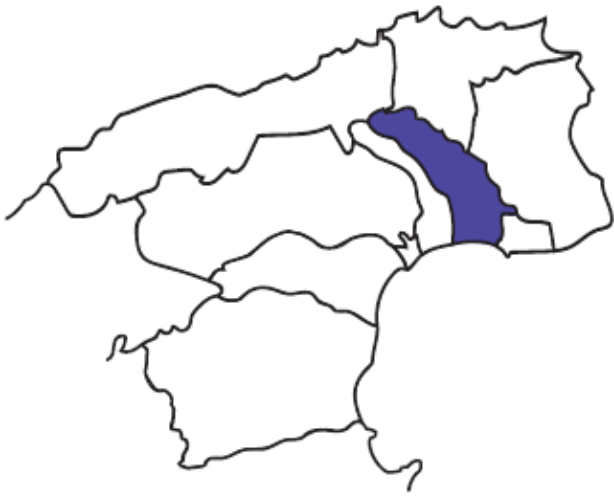


要件	珠洲ビーチホテル周辺や海水浴場を核とし自然を活かしたインスタレーションなど※一部保安林区域のため制限あり
展示期間	会期中、会期以外（砂浜で展開する場合は短期）
住所	珠洲市蛸島町鉢ヶ崎
施設概要	透明度が高く、遠浅の海水浴場。周辺健康趣向のクアの道など滞在型リゾートとして展開している。
付帯設備	駐車場
所有者	石川県、珠洲市（指定管理者：（一財）鉢ヶ崎リゾート振興協会）

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	○	×



05 正院地区 (しょういん)

世帯数：612世帯

人口：1,320人

面積：11.89km²

主な河川・山岳：

金川 (4.4km) 直地区との境界

飯川 (2.0km)、岡田川 (3.2km)

学校：正院小学校 (児童数31名)

05 正院地区

～古代珠洲の中心地 碁盤状の街並み～

古代郡家の正倉、北陸道の駅路の終着駅の珠洲駅が置かれた（平安初期に行政機構の縮小策によって廃駅になった。）。須受八幡宮は、神事能の舞台があり、鎌倉時代から猿楽で賑わった。道幅の広い目抜き通りを使って、奴振り行列が開催される。

江戸末期に日用雑器を中心とした青九谷系の正院焼が興るが、現在では廃窯となっている。また、正院産の干イワシ、干アワビ、マグロ、油粕、灰、ねいごほうき、正院素麺などが出荷されていた。山側は珪藻土が多く埋蔵しており、現在、珪藻土の事業者、珠洲焼の陶工が、多く点在する。冬にコハクチョウが飛来する田んぼもある。



△大名行列の名残を感じる「奴振り」



△ひびのこづえ「スズズカ」
(旧飯塚保育所)



△冬の八丁平野に飛来する
コハクチョウ



△アレクサンドル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次
(正院バス停)



△アレクサンドル・コンスタンチノフ/珠洲海道五十三次
(珠洲川尻バス停)



△中島伽耶子/あかるい家
(飯塚の旧事務所)



06 直地区 (ただ)

世帯数：463世帯

人口：1,139人

面積：8.08km²

主な河川・山岳：

金川（4.4km）正院地区との境界

学校：直小学校（児童数64名）

※日置地区の児童も通学している

緑丘中学校（生徒数155名）

※上戸、飯田、若山、直、正院、蛸島、

日置地区の生徒が通学

石川県立飯田高等学校（生徒数301名）

06 直地区

～交通の結節点 生まれ変わる珠洲駅～

直村は、野々江、岩坂、熊谷の3か村が合併して成立。明治初期から竹製品の製作が盛んになり、蚕籠、魚入籠、移出魚籠、繭籠などを鳳至郡・富山県に移出していた。現在、量は少なくなったが、技術の継承者たちが制作に携わっている。

近年、学校、病院、図書館など社会資本が整備されており、周辺には、大型店舗や住宅などが建ち並んできている。また、廃線となった旧のと鉄道珠洲駅を活用し、道の駅「すずなり」を整備。現在は、定期観光バスが立ち寄るなど、多くの観光客が訪れている。珠洲市の交通結節点として、また観光情報の発信拠点として機能している。

生物多様性に着目し、環境配慮型の農業に取り組む若い農業者もいる。



△道の駅「すずなり」に集まるキリコ



△2019年3月にオープンした市民図書館



△道の駅「すずなり」



△亀ヶ谷池（かめんたんいけ）

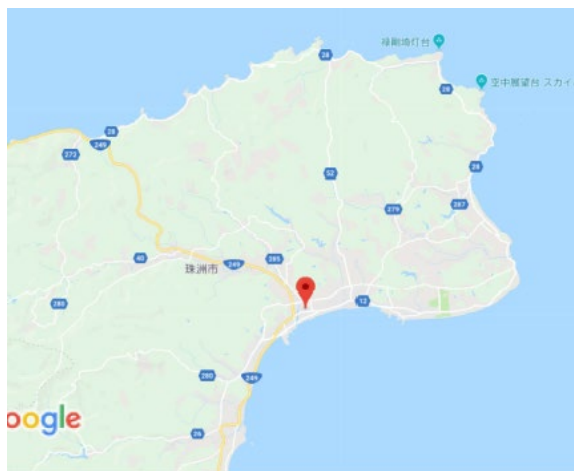
06 直地区

⑧道の駅すずなり（旧珠洲駅プラットフォーム）



要件	インスタレーションやパフォーマンス、イベントなど幅広いジャンルの企画が可能。広場をはじめ、プラットフォーム、線路を利用可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市野々江町シ部
施設概要	のと鉄道能登線廃止に伴い2010年に旧珠洲駅を整備。道の駅すずなりとして観光・交通の結節点でもある。
付帯設備	駐車場（約50台） ※道の駅すずなり内の「すずなり館」には観光客案内所と物産コーナーが設置されている。
所有者	珠洲市（指定管理者：NPO法人能登すずなり）

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

■見取り図・写真



プラットホーム



当時の看板



一部線路が敷設している状態



07 飯田地区 (いいだ)

世帯数：618世帯

人口：1,335人

面積：1.24km²

主な河川・山岳：

若山川 (17.4km) 下流域

学校：飯田小学校 (児童数70名)

07 飯田地区

～港、朝市、祭りで活気づく 昔も今も珠洲の中心地～

珠洲市の政治・経済・文化の中心的な場所。以前から商業地域の傾向が強く、数百年の伝統をもつとされる二七の朝市が今も行われている (毎月2・7の日に開催)。

春日神社は、かつて若山社と称し、若山荘の鎮守とされ、近隣の春日田は神供田と伝える。

毎年7月20日、21日に開催される春日神社の納涼祭 (飯田灯籠山祭り) には、高さ7～8mの灯籠山車が出るが、明治初期に富山県氷見市のものを模して作ったのが、現在につながっているとされる。

飯田港は古くから沿岸航路の泊地であり、米・塩・木材など、生活用品の移出港。また、能登鉾山の石膏積出港でもあった。1962年 (昭和37年) 頃から七尾～奥能登間の定期船運行に伴い、珠洲地方の発着港になった。1975年 (昭和50年) から1979年 (昭和54年) にかけて、佐渡を結ぶフェリーボート、ホバークラフトが就航した。



△金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム [スズプロ] 「静かな海流をめぐって」 (飯田の古民家)



△河口龍夫「小さい忘れもの美術館」 (旧飯田駅)



△さいはてのキャバレー (かつての船着場が芸術祭をきっかけに生まれ変わった)



△浅葉克己/石の卓球台第3号 (さいはてのキャバレー)



△飯田灯籠山祭り/山車が建ち並ぶ様子は壮観

07 飯田地区

⑨珠洲市生涯学習センター（旧図書館）



要件	<p>インсталレーションやパフォーマンス、イベントなど幅広いジャンルの企画が可能。</p> <p>1階 旧図書館などのみ使用可能。</p> <p>2階は、団体等への貸館として使用しているため使用不可。</p>
展示期間	会期中、会期外問わず（短、中期）
住所	珠洲市飯田町9-83-2
施設概要	1974年に珠洲市立中央図書館、中央公民館、飯田公民館として建設。2019年3月に市民図書館を建設し移転した事により閉鎖。
付帯設備	<p>駐車場（50台程度）</p> <p>図書館として使用していた当時の本棚が一部残る。</p>
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

07 飯田地区

⑩旧消防庁舎訓練塔

(現奥能登国際芸術祭実行委員会事務局)



要件	訓練塔全体を利用したインスタレーションが可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（長期）
住所	珠洲市飯田町13-120-1
施設概要	2016年3月まで消防庁舎として利用。 同年5月からは芸術祭の事務局として利用。
付帯設備	
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気

水道

トイレ

図面

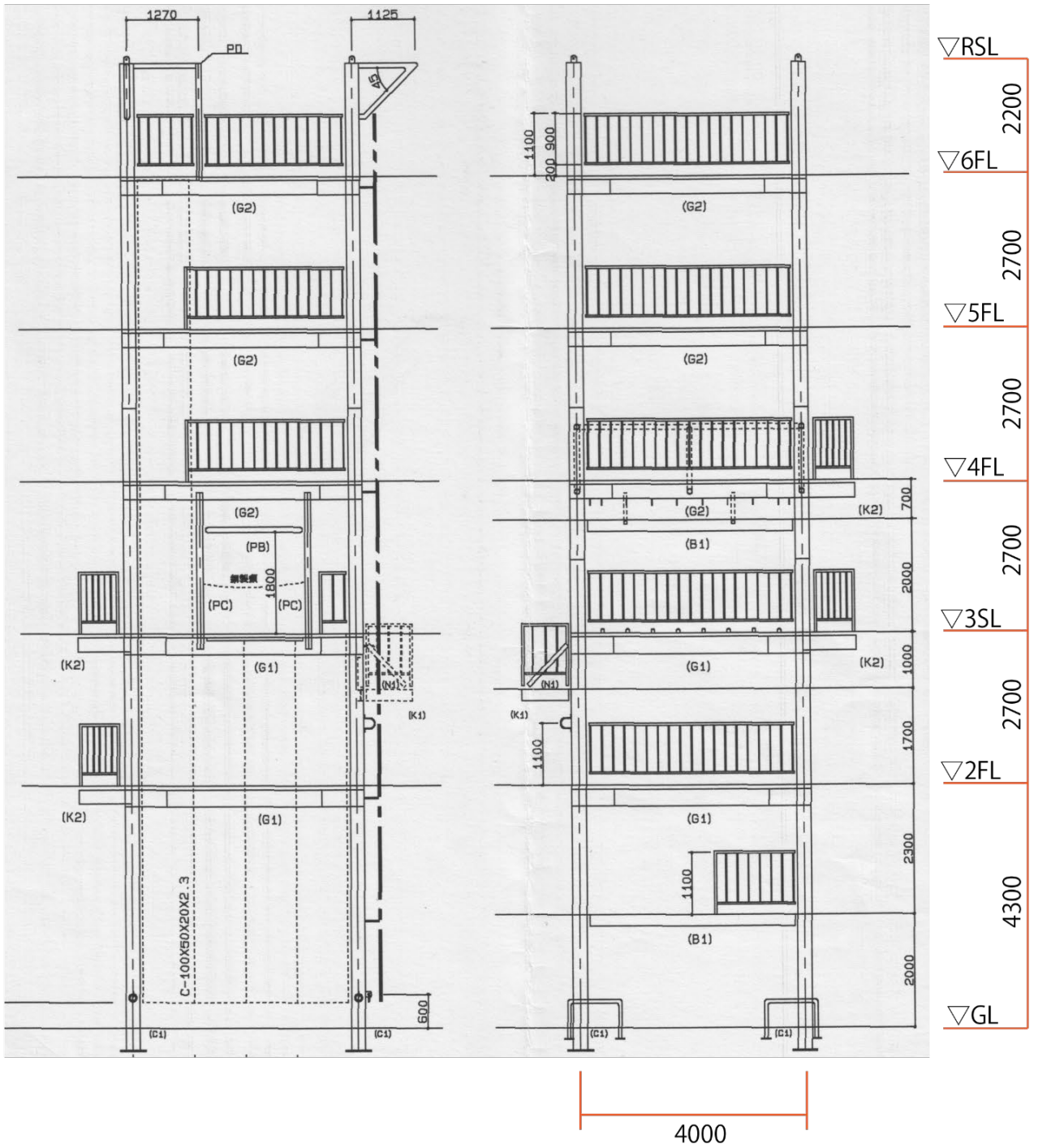
○

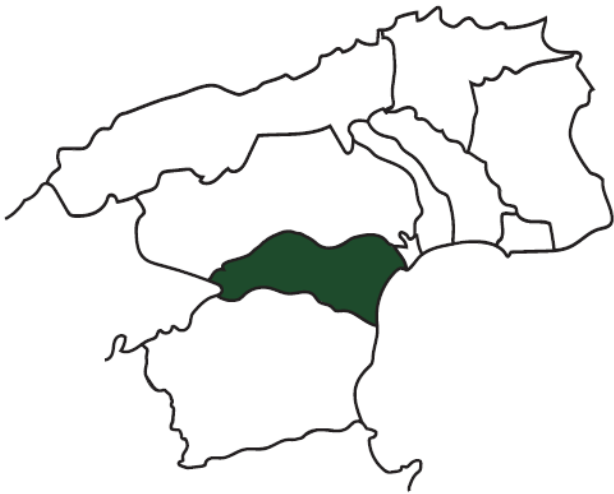
○

○

○

■ 立面図





08 上戸地区 (うえど)

世帯数：573世帯

人口：1,308人

面積：17.54km²

主な河川・山岳：

竹中川 (2.6km)

学校：上戸小学校 (児童数22名)

08 上戸地区

～かつて塩田が並んだ砂浜 受継がれる倒さスギと蟹の伝説～

田畑の分布状況（珠洲は横穴が多い）から、珠洲全体ではもっとも早く開けたところと考えられる。農業中心の村であったが、江戸から明治期には製塩業も盛んであった。その後不振になり養蚕を導入。明治維新の際に困窮した塩土を救ったとされる藻寄行蔵氏の生家がある。

明治22年に名古屋から職工を招いて上戸縞が生産され、一時は隆盛したが大正初期には衰退。冬期には酒造の出稼ぎ（能登杜氏）が盛んで、明治30年には約300名いたとされる。

県指定天然記念物「倒（さかさ）スギ」は、樹齢900年。杉の枝が地面を這うようにして逆さに垂れていることから呼ばれるようになった。八百比丘尼（やおびくに）が昼食時に杉箸を逆さに挿し、そこから枝葉が出たとの逸話も伝わっている。

法城山 永禅寺は、古くから蟹の妖怪を退治した話が伝わっており、「蟹（ガン）寺」と呼ばれるようになった。



△ラックスメディア・コレクティブ「うつしみ」
(旧上戸駅)



△上戸曳山祭り/かつては塩田を踏み固めていた



△県指定天然記念物「倒さスギ」



△永禅寺（蟹（ガン）寺）の境内に飾られるカニの彫刻

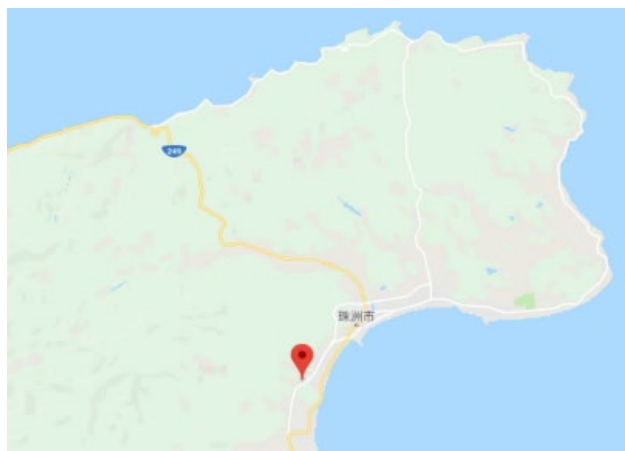
08 上戸地区

⑪柳田児童公園



要件	公園内でのインスタレーションや、パフォーマンス等の幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中
住所	珠洲市上戸町南方
施設概要	地域の交流の場として整備。海沿いに位置している。9月14日には地区の祭りが開催され、曳山も飾られる
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	×



09 宝立地区 (ほうりゅう)

世帯数：922世帯

人口：1,965人

面積：54.56km²

主な河川・山岳：

鵜飼川 (10.7km)、舟橋川 (4.2km)

般若川 (2.7km)、宝立山 (471m)

学校：宝立小中学校 (小学校児童数50名、
中学校生徒数22名)

09 宝立地区

～沖合に浮かぶ見附島 弘法大師伝承の数々～

地名は宝立山に由来。法立とも書く。奥能登北東部では最高峰。宝立山は「一国はいふに及ばず、近国をみおろし、所々より回船の目当となる山にて、勝景類なく実に宝嶺なりといへり」という記述がある(能登志微(のとしちょう))。

法住寺は、平安から鎌倉にかけての公卿の日野資実が祈願寺とした。

鵜飼川にはアユ・マス・イワナなどが生息し、市内屈指の釣り場とされ、かつては、和船が河口から200m余遡上できたと伝えられる。

能登地区随一の酒蔵“宗玄酒造”の本拠地でもあり、創業250年の歴史がある。

毎年8月第1土曜日に開催される「宝立七夕まつり」は、キリコが海中に乱舞する勇壮な祭りとして知られる。

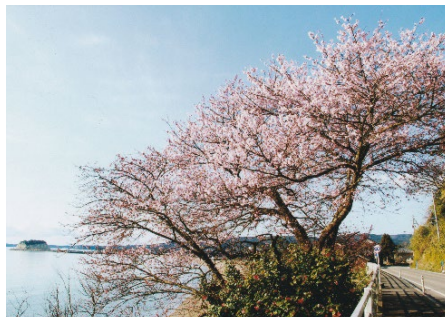
県指定天然記念物「見附島」は、高さ28メートルの大きな岩がそびえ立つ。弘法大師が布教のために、佐渡から能登へと渡る際に発見したといわれており、「見つけた」というのが名前の由来。先端部分が突き出したその独特の見た目から別名「軍艦島」とも呼ばれている。



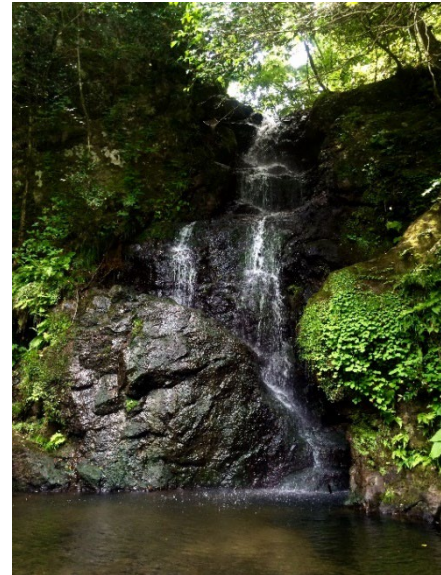
△宝立七夕キリコ祭り/花火を合図に海へ入るキリコ



△県指定天然記念物「見附島」



△谷崎の桜



△曾ノ坊の滝

09 宝立地区

⑫見付公園



要件	公園内でのインスタレーションや、パフォーマンス等の幅広いジャンルの企画が可能。一部、国定公園内のため規制あり
展示期間	基本的に会期中 会期外の利用は要協議
住所	珠洲市宝立町鶴飼1-38
施設概要	見附島を核とした市民交流の場と観光振興拠点の充実のために1998年に完成。
付帯設備	駐車場あり（100台程度）
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	○	○	○

東

整備概要

南

珠洲市のシンボル見附島を核とした市民の交流の場と観光振興拠点の充実にあわせて計画を策定。



平成3年7月に建設大臣の認定を受けています。



認定の範囲は綿飼川から舟橋川までの汀線延長1,160m、面積58ha。

このうち、第一期計画として既設公園2.9haに隣接した陸域部5.3haを平成5年度から9年度までに16億円をかけて整備しました。



見附島側には噴水広場や子供の広場を配し、園内道路で結んだ恋路側の海浜部には朝日の広場と景観に配慮した緩傾斜護岸や人工リーフを整備し、安心して水に親しめる空間を創造しています。

北

“藍と緑のロマンの里 フレッシュライン見附”パンフレットより

09 宝立地区

⑬旧南黒丸駅



要件	駅舎や線路跡地を活用したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市宝立町南黒丸
施設概要	のと鉄道能登線の廃止に伴い使用されなくなったが、駅舎だけ残っている。 ※レールも撤去し線路敷だけが残る
付帯設備	駐車場（5台程度）
所有者	民間

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	×	×

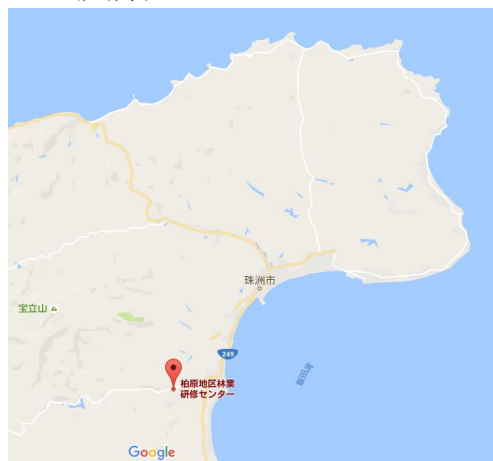
09 宝立地区

⑭旧柏原保育所



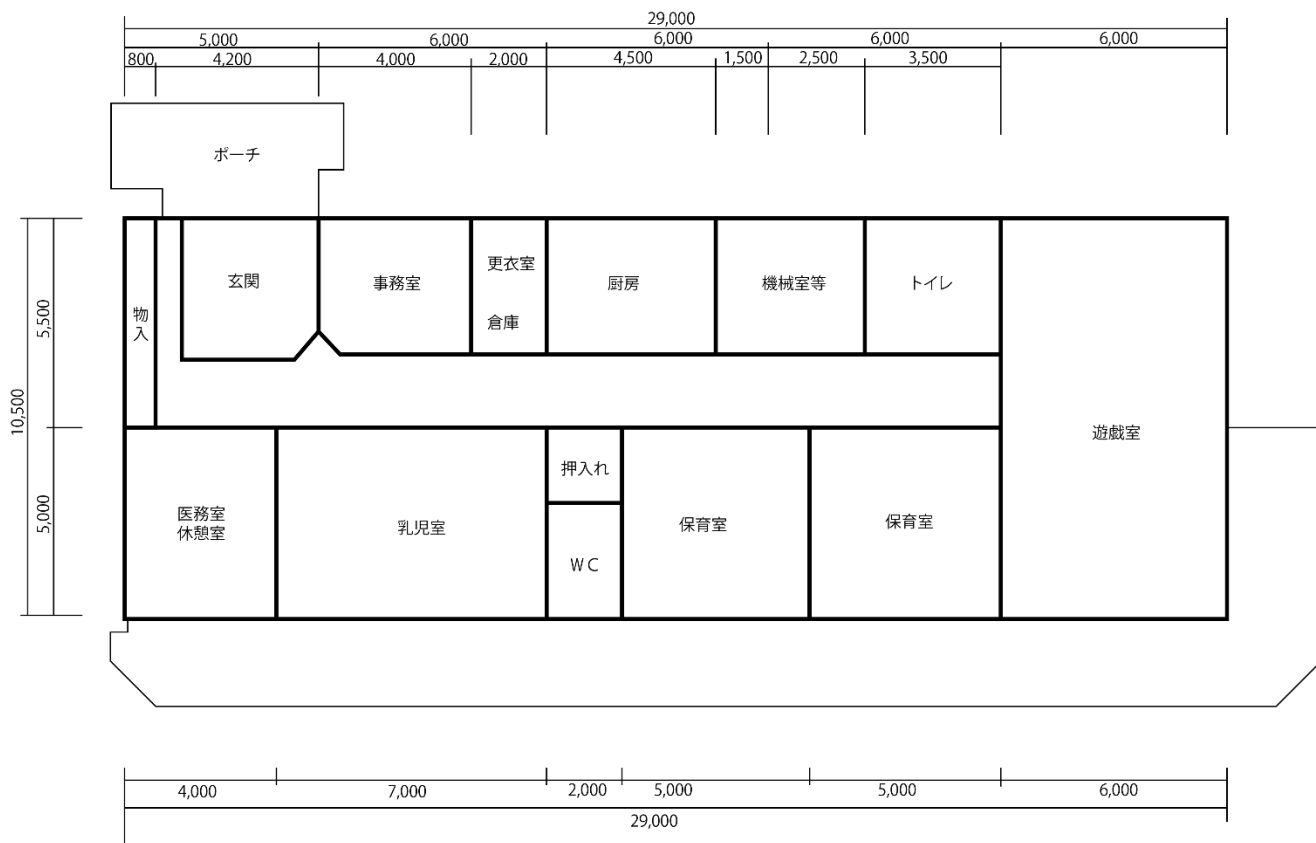
要件	施設内全体を活用したインスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市宝立町柏原38-48-10
施設概要	1980年に建設され、1994年に閉所。 現在は、地域住民がイベント等で利用する備品の倉庫として利用。
付帯設備	駐車場あり（10台未満） 水道電気は不通
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
○	×	×	○

■見取り図・写真



遊戯室内



保育所当時の演劇の道具なども残っている



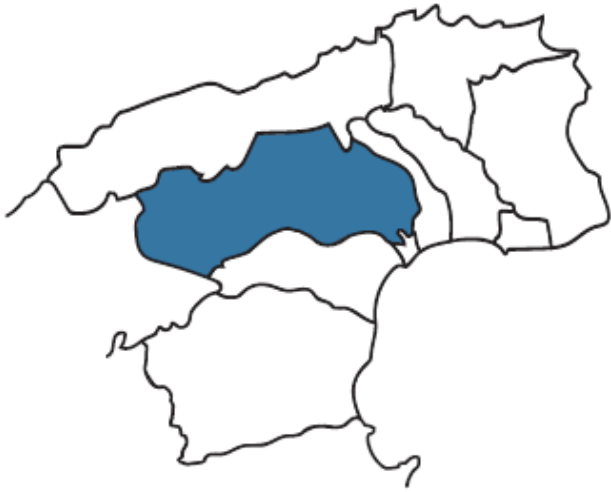
グラウンドは地域住民が利用



遊戯室内



保育室の外壁



10 若山地区 (わかやま)

世帯数：701世帯

人口：1,525人

面積：48.75km²

主な河川・山岳：

若山川（17.4km）、宝立山（471m）

学校：若山小学校（児童数30名）

10 若山地区

～能登国最大の荘園「若山荘」 里山で守られる伝統行事～

市内では唯一、海に接していない山に囲まれた地区となっている。市街地と外浦地区を結ぶ交通の要所でもあり、山間には水田が広がり米の生産が盛んで、あえのこと、虫送り、庭祭りなどの民俗行事が伝承されている。

地名の由来は古代の若倭郷という郷名の転化といわれている。平安期に成立した荘園「若山荘」は珠洲郡の6分の5強の面積を有したといわれ、能登国最大の荘園として発展した。

1920年（大正9年）から中田地区で石膏採掘（能登鉱山）が開始され、1969年（昭和44年）の閉山まで、200万トンを出鉱していた。

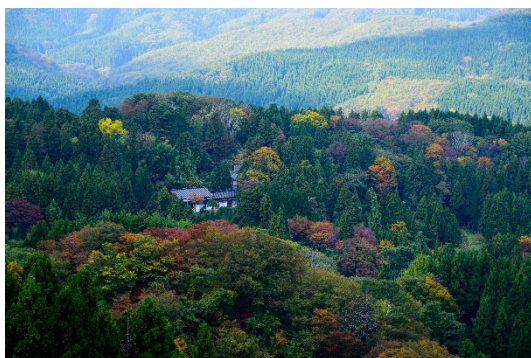
上黒丸にある「黒丸家」は、格式をもった間取りと屋敷構えをもち、江戸初期の建築といわれ、国指定重要文化財となっている。



△国指定重要無形民俗文化財「あえのこと」



△虫送りの様子



△山深い集落の様子



△棚田の様子

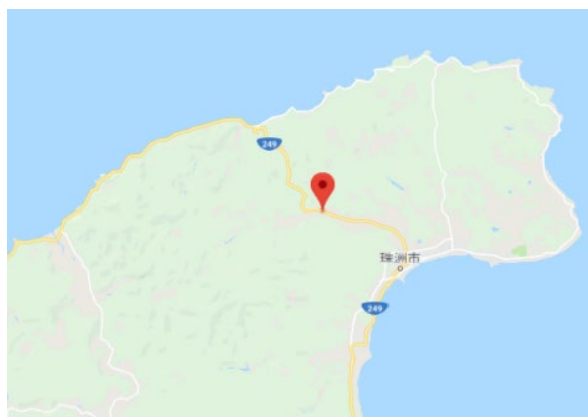
10 若山地区

⑮旧大坊小学校跡地（牛セリ市場）



要件	インスタレーションやパフォーマンスなど幅広いジャンルの企画が可能。
展示期間	会期中、会期外問わず（中、長期）
住所	珠洲市若山町宇都山
施設概要	1981年3月に若山小学校統合により閉校。その後1986年大坊生活改善センターや隣接して子牛セリ市場が整備される。
付帯設備	駐車場（20台程度）、旧グラウンド、旧子牛セリ市場建屋の一部
所有者	珠洲市

■施設所在地



電気	水道	トイレ	図面
×	×	×	×

その他、作品展開可能な場所や施設



空き家



保全林



海岸線(内浦)



海岸線(外浦)



農地



公園

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

参考文献

珠洲市制五十周年記念「珠洲のれきし」
奥能登国際芸術祭2017記録集
奥能登国際芸術祭2020+記録集
スズ・シアター・ミュージアム カタログ

編集

奥能登国際芸術祭実行委員会
〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13-120-1
TEL 0768-82-7720 FAX 0768-82-7727
E-mail info@oku-noto.jp
公式Webサイト <https://oku-noto.jp/>